

ステロイド中止後の浸出と疼痛を経て 1 年 5 か月で症状が和らいだ高齢者アトピーの経過 (63 歳)

症例 ID：001-60-YK2

記録日：2013 年 1 月 26 日

1. 診断・治療前経過

複数の医療機関で乾癬、汗疱、アトピー性皮膚炎などの診断を受け、ステロイド治療を受けました。最後の医療機関では 4 か月間使用しましたが、症状の良い時と悪い時を繰り返しました。

2011 年 8 月 26 日に松本医院を受診し、従来のステロイドを中止しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	複数の医療機関で皮膚症状にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	少なくとも受診前 4 か月間を含みます。
中止時期	2011 年 8 月 26 日の治療開始時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2011 年 8 月 26 日	治療開始	従来のステロイドを中止しました。
開始 1～7 週	急性悪化	手、足、腕、腹部へ炎症が広がり、痛み、かゆみ、浸出液が続きました。
開始 10～11 週	生活変化	浸出液が減り、眠れる日が増え、通常の下着を着られるようになりました。
開始 8～10 か月	症状の波	手の硬さとかゆみが続き、肘、肩、首にも炎症が広がりました。
開始約 1 年	浸出の変化	浸出液が出る部位とヒリヒリする部分が減りました。
開始 1 年 2～4 か月	皮膚の変化	炎症が徐々に和らぎ、真菌様の紅斑も色が薄くなりました。
開始 1 年 5 か月	長期経過	小さな発疹とかゆみは残りましたが、全体として症状が和らぎました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始 4～7 週頃と 10 か月頃に、手、足、腕、腹部などの炎症、強い疼痛、衣類の摩擦痛、浸出液、不眠が重なった時期です。

5. 困りごと

- 衣類が触れるだけで痛みがあり、下着を裏返して着用しました。
- 浸出液と痛みで眠れない日がありました。
- 手のひら、手首、足の甲などに症状が長く残りました。

6. 経過のまとめ

治療開始 10～11 週頃には浸出液が減り、眠れる日が増え、通常の下着を着用できるようになりました。

約 1 年 5 か月後には小さな発疹とかゆみは残っていましたが、浸出液やヒリヒリする痛みはみられなくなり、全体の炎症も和らぎました。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。